

今回は、「よくある社員の間違い行動」という小冊子からです。

### あいさつが、きちんとできない

「あいさつは大事だ！」と言われて、あなたはもう思うだろうか？「全くその通りだと思います。だから、明るく、元気に大きな声であいさつするように心がけています」という人もいれば、「確かに大事だと思いますけど、忙しい時もありますし、まあできるだけするにはしていますよ…。うるさいなあ。あいさつぐらいで…」という人もいると思う。あるいは「大事だと思いますが、私は照れ屋で恥ずかしがり屋なので…。元気で、明るくてとか、大きな声で、というのは苦手なんです…」という人もいるだろう。あなたはどのタイプだろうか？

あなたに、ときどき行く喫茶店や居酒屋があるとします。あなたは、お店に入った時、「いらっしゃいませ！こんにちは！」と、明るく、元気に、大きな声であいさつされたいだろうか？それとも、目も合わさず、言ったか言わないかわからないくらいの小さい声で、「いらっしゃい…」とあいさつされたいだろうか？

店員さんが忙しそうにしているが、どうしても追加の注文をしたい時がある。「悪いなあ～」と思いつつながらも「すみませ～ん」と呼びかける。しかし、店員さんからは、返事さえない。あなたはどんな気持ちになるだろうか？逆に、忙しいのに駆け足で来てくれて、息をハアハアさせながらも、明るく、元気な声で、「はい！お待たせしました！」あなたはどんな気持ちになるだろうか？

あなたが、タクシーに乗った時。「〇〇まで行ってください」と告げたとする。「はい、かしこまりました！」と明るく、元気に返事をする運転手さん。「〇〇？△△の近くね」と返事もせず、自分の聞きたいことだけを乱暴な口調で聞いてくる運転手さん。「…」返事もせずに発車する運転手さん。あなたはどの運転手さんが好きだろうか？

あなたが、あいさつされる立場になればわかるはずだ。「こんにちは！」「お世話様です！」「いらっしゃいませ！」「ありがとうございます！」「行ってきます！」「はいわかりました！」「お疲れ様でした！」「行ってらっしゃい！」「ただいま戻りました！」などなど、あいさつ言葉はたくさんある。

私は、明るく、元気なあいさつには魔法の力があると思う。それは、あいさつした本人の気持ちが明るくなり、やる気がみなぎってくるのと同時に、あいさつされた相手の気持ちも明るくなり、やる気がみなぎってくるということだ。

さっそく、今から、明るく、元気に、大きな声であいさつしてみよう。

「あいさつは大事だ！」と言われてあなたはどのタイプですか？

( )

喫茶店や居酒屋でどんな対応をしてもらいたいですか？

( )

タクシーの運転手の対応であなたはどの対応がいいですか？

( )

あいさつにはどんな力あると言っていますか？

( )